

小学校 中 学年< 4 - (1 1) >

学 年	4年	時 間	理科「もののあたたまり方」(啓林館) 「物のあたたまり方」(東京書籍)	時 期	1月～2月	時 数	授業の中で短時間で 押さえる
目 標	生活経験や簡易実験から、(金属や水、) 空気のあたたまり方に興味をもち、(金属や水、) 空気は熱したところからどのようにあたたまっていくかについて見通しを持って調べ、(金属はその一部を熱しても、中央を熱しても、熱した部分から順にあたたまっていくことや、水や) 空気は、熱した部分が上方に移動して全体があたたまっていくことなど、物のあたたまり方について考えをもつことができるようにする。						
資料・準備							

<啓林館>

第3次「空気のあたたまり方を調べる。」

<東京書籍>

第2次「水や空気はどのようにあたたまるか」第3時(第4時)～第6時(第7時)

学習の流れの中で押さえること(指導計画通りに授業を実施)

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 (授業者で)	
展 開	2 (教科書等に沿って、授業者で)	○ 加熱器具を安全に注意しながら正しく扱う。 ○ 室内で、ストーブなどの熱源とまわりの位置関係を考えながら、空気のあたたまり方を調べるために、適した場所を選ばせる。
ま と め	3 まとめと振り返りをする。	○ 空気は、熱した部分が移動して全体があたたまっていくことを押さえる。 ○ 火事ときには、空気に混じった有害物質が温まった空気と一緒に上に上がるため、避難際には、このことを意識してできるだけ姿勢を低くすることや有害な空気や煙を吸わないよう鼻や口をぬれたハンカチ等でおおうとよいことなどを確認する。

関連する 教科・領域等	
協力団体	